

あれ
これ

町政を問う

質問者



三好 勝利 議員

Q

町道西古泉筒井線の進捗状況は？

A

財政状況を見定めた上で取り組みます

問

この道路は、町道筒井徳丸線から松前公園への防災上、必要な道路として整備すると聞いている。

西古泉や昌農内、筒井地区も、松前公園へ避難する場合には、役場西の町道を通るが、この道路は道幅が狭く、車も離合できない。住宅が密集していることから、地震時にはブロック塀や家屋の倒壊により、道路がふさがれ、通行できないおそれがある。

また、この道路の附帯水路は、筒井地区の住宅浸水の被害軽減を図る目的であると聞いている。今年の梅雨時期には道路冠水や家屋の床下浸水があり、住民は大雨時にはいつも不安を抱いている。早急の道路整備計画は。

答

町長

町道西古泉筒井線の道路は、今建設を進めている町道筒井徳丸線と、松前公園あるいは体育館とを結ぶ道路として、整備

をするものです。

西古泉あるいは昌農内、また周辺の地域住民の皆さんが、災害のときに避難する防災的な役割を果たす道路として、また筒井地区の浸水対策、あるいは周辺道路の渋滞緩和を目的としています。

この道路は、車、人ともに非常に多くの利用が見込まれ、従来のようなものではなく、人と車をしっかりと分離し、人を主体とした道路にすること、景観、環境に配慮した、住民に親しまれる道路にします。

平成21年度に道路計画はおおむね完了しています。ただ、道路に附帯する水路は、南地区の道路計画を一たん休止にしたので、水路の計画を見直しています。

関係者に対し説明会を実施するとともに、用地の面積、また支障となる建物、物件の移転費の算定を行い、用地買収に取りかかります。

しかし、国の道路特定財源の縮小、あるいは一時期ガソリンの暫定税率

の廃止といったように、現内閣になり、道路に対する補助は非常に厳しい状況です。

県において順次護岸の補強工事をしており、できるだけ早く河床の掘削、掘り下げに着手します。



補修で施設の体力維持を

問
遊水地の排水について

長尾谷川、土川、今新開川が合流する遊水地の排水はどのような計画があるのか。

答
財政的に厳しい

町長

遊水地の排水計画は、長尾谷川は県の管理であり、将来的に遊水地の貯水容量を多くすることで、浸水の軽減を図ると考えます。

町は、当面神子舞住宅西の水路改修をすることにより、当面の浸水の軽減を図ります。また、平成元年に整備された義農湛水防除施設は、補修を行って、施設能力を維持します。

町が公共下水道事業の雨水対策として、土川、早船川の雨水を江川遊水池へ導いて、松前港へ排水する計画を立て、平成20年2月